



# PLAZA FESTIVAL 2020

## 第2マルバ会館<sup>マル マル</sup>〇〇な上映会 親子で楽しめるショートフィルム 上映会&ワークショップ

会期 2020年10月2日(金)~7日(水)  
会場 SCARTSスタジオ、SCARTSモールCほか  
入場料 無料  
主催 札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

フラフープを使って観る、撮る

札幌市民交流プラザ開館2周年を記念した「プラザフェスティバル 2020」の一環として、SCARTSスタジオでは、会場を固定せず上映企画を実施するノマドシアター「第2マルバ会館」による『〇〇な上映会』を開催しました。床に散りばめたフラフープで楽しくソーシャルディスタンスを保ち、くつろいだり声を出したりしてもよい和やかな環境の中で、ドイツ「オーバーハウゼン国際短編映画祭」のアーカイブから選りすぐりの6作品を特別上映。

新型コロナウイルスの感染拡大によりワークショップ等が自粛傾向にある中、フラフープを用いてディスタンスを保ったまま、参加者を撮影したコマ撮りアニメーションを制作・公開するワークショップも行いました。



短編アニメーション『ヒップとベッシー・サーカスの巻』(1973年)、音響技術を取り上げた実写映画『ハイジ、耳をすませば。』(2016年)など、幅広く上映



フラフープを小道具としてプラザ内の各所で参加者をコマ撮りし、1本のアニメーションを制作

## オーバーハウゼン国際短編映画祭セクション作品上映会

日時 2020年10月2日(金) 19:00~20:30、3日(土) 14:00~15:30

床に散らばったフラフープでソーシャルディスタンスを保ちながら、「オーバーハウゼン国際短編映画祭」から6作品を特別に上映しました。映像作家・大島慶太郎の進行で、作品をキュレーションしたドイツに在住の中沢あきと中継をつないでの作品解説も行われ、大人も子どもも楽しめる上映会となりました。

## 第2マルバ会館 アニメ倶楽部 vol.2 ピクシレーション・ワークショップ

### ワークショップ

会期 2020年10月4日(日) 13:00~16:00

会場 SCARTSスタジオ、SCARTSモールCほか

### 完成作品展示

会期 2020年10月5日(月)~7日(水) 11:00~19:00

会場 SCARTSスタジオ

フラフープを用いてプラザ内の各所で参加者をコマ撮りし、集めた映像で1本のアニメーションを制作。フェスティバル後半の3日間は、その完成作品をスタジオで展示上映しました。

## ノマドシアター「第2マルバ会館」

2016年から2017年まで、月に1・2度のペースで、ローカルの映画監督、映像作家の作品を中心に自主上映会を実施。地下鉄自衛隊前駅前にクリーニング店をDIYでリノベートした上映館があったが、建物の老朽化により閉館。現在は場を固定せず上映企画を実施するノマドシアターとして活動している。

代表:松永芳朗(STUDIO ROCCA 代表)

企画:大島慶太郎(映像作家)



# PLAZA FESTIVAL 2020 細井美裕 サウンドインスタレーション “Lenna” Sound Installation “Lenna”

会期 2020年10月2日(金)～7日(水)  
10:00から19:00にかけて毎時00分から再生(再生時間:7分45秒)  
会場 SCARTSモールC  
入場料 無料  
主催 札幌文化芸術交流センターSCARTS(札幌市芸術文化財団)

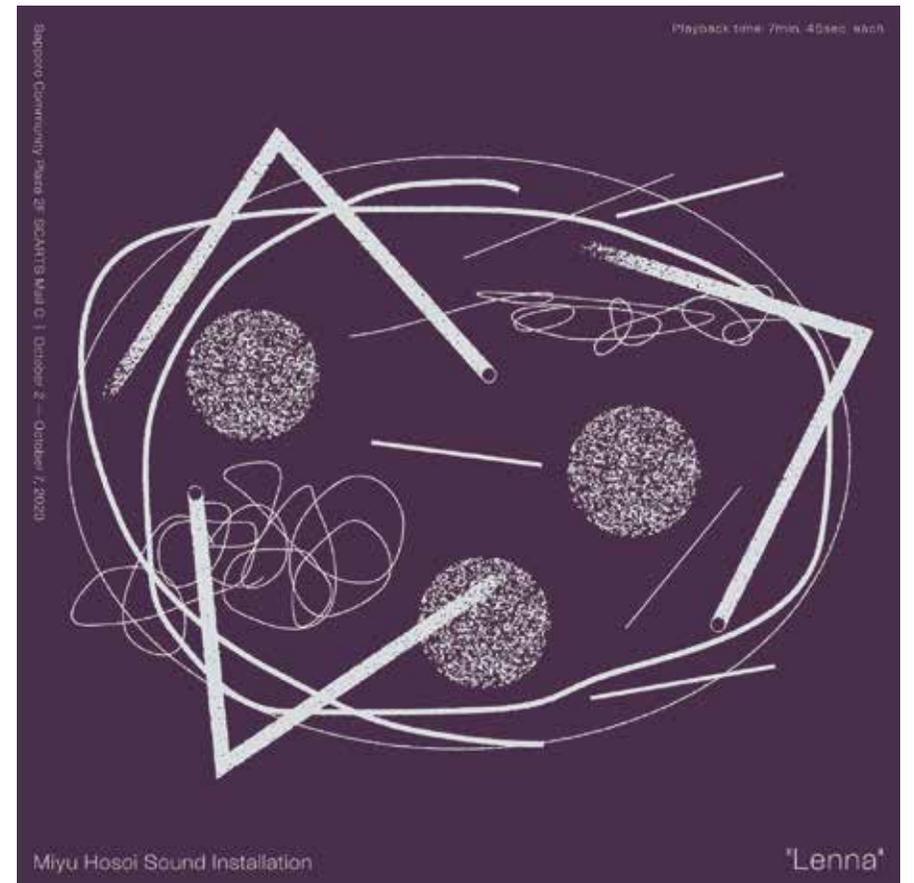
ひとりの声の重層的な響きが空間を満たす

札幌市民交流プラザ開館2周年を記念した「プラザフェスティバル 2020」の一環として、ボイス・アーティストの細井美裕によるサウンドインスタレーションを制作しました。声が立体的に絡み合うことで、鑑賞者にひとりの人間の声とは思えないような多様な質感を知覚させると共に、空間特有の響きまでを作品の一部として展示する《Lenna》(2019年制作)を、高さ10mのSCARTSモールCと、1階からつながる吹き抜けの空間に合わせて、14chの音響システムに再構築。まるで建物そのものの歌声に包まれているかのような体験をもたらすインスタレーションとなりました。

図書館やレストランに隣接しているため、通常、大きな音が響くイベントを制限している空間に、フェスティバル期間中の6日間のみ、居合わせた人々が同じ音に耳を傾ける特別な時間がつくり出されました。



サラウンド音響作品「Lenna」(2019年)を、複数のスピーカーを組み合わせた特殊な環境で再生



《Lenna》の音源を聴き、図形楽譜をイメージして制作されたグラフィック 制作:阿部寛文

### 細井美裕

1993年生まれ。サウンドアーティスト。慶應義塾大学卒業。マルチチャンネル音響をもちいた空間そのものを意識させるサウンドインスタレーションや、舞台公演、自身の声の多重録音を特徴とした作品制作を行う。2019年には山口情報芸術センター[YCAM]にて、細井美裕+石若駿+YCAM新作コンサート・ピース「Sound Mine」を発表。第23回文化庁メディア芸術祭アート部門新人賞受賞。